



プロジェクト名称

candle night

プロジェクト活動概要

- 概要：現代の人は仕事などで忙しい毎日を送っています。そこで、夏至と冬至の夜の2時間だけでんきを消して人々にスローな夜を提供しようと活動を行っています。2011年3月に東日本大震災が起こり、日本のエネルギー問題が露わになりました。これを期に人々にでんきの明るさだけに頼らず、ろうそくの明かりの大切さを知り省エネやエコについて考えを増やしてほしいと願っています。そこで私たちは100万人のキャンドルナイトとして日本全国各地で行われているイベントを行います。また地域交流として地域の方々にキャンドル教室を開き、ろうそくの身近さを知ってもらう機会を設けます。
- プロジェクトメンバー：

建設工学専攻	2年	1人	
生命科学科	1年	2人	
デザイン工学科建築・空間デザイン領域	3年	2人	
デザイン工学科建築・空間デザイン領域	2年	9人	
デザイン工学科建築・空間デザイン領域	1年	5人	
デザイン工学科プロダクトデザイン領域	2年	2人	
デザイン工学科プロダクトデザイン領域	1年	2人	合計 23名

活動状況報告&活動写真など 活動期間：2013年10月 1日～ 12月31日

- 目次 11月 キャンドル教室@Toyosu campus …2
2013年11月1日～3日 (2回目)
- チャリティーキャンドル販売@Toyosu campus …4
2013年11月1日～3日 (2回目)
- 12月 キャンドル教室@Tamachi campus …6
2013年11月9日 (初開催)
- candle night@atre川崎 …8
2013年12月21日、22日 (2回目)
- 今後の活動計画、目標、意気込みなど …10



キャンドル教室@Toyosu campus

- 概要：第40回芝浦祭に引き続き、芝浦祭の教室企画として参加させていただきました。実施したイベントは「キャンドル教室」と「チャリティーキャンドルの販売」です。「キャンドル教室」では実際にキャンドルを作ってもらうことで身近に感じていただく機会を設けます。「チャリティーキャンドル販売」ではプロジェクト内で手作りのキャンドルを4作品各50個、合計200個制作し1つ300円で販売致しました。販売による収益金は日本赤十字社を通し、東日本大震災の復興支援として募金致しました。



チャリティー作品1 チャリティー作品2 チャリティー作品3 チャリティー作品4

- 実施日時：2013年11月1日～3日 10:00～16:00
- 実施内容：キャンドル教室、チャリティーキャンドル販売

■ キャンドル教室

今回来場者の方々に作っていただくため、当プロジェクトは2作品準備致しました。一つは紙コップのように日用品を用いて作ることでできる作品。もう一つは粘土を型とし、芸術の秋にちなんだキャンバス風の作品。どちらの作品にも来場者の方々がより自由に、よりクリエイティブに制作できるよう、多種多様なブロックキャンドルを準備しました。ろうによる火傷等のけがを防止するため、溶解作業は来場者から離れた場所でスタッフが代行、その場に2人以上常駐しました。

■ 企画・計画プロセス

(10月上旬)

- ◇ 企画計画設定・グループ分け・試作品の作成
 作品アイデア発表・試作品の確認

(10月中旬)

- ◇ 場所決定・企画書の作成・安全面の確認
 作品行程の確認・広報用資料の作成

(10月下旬)

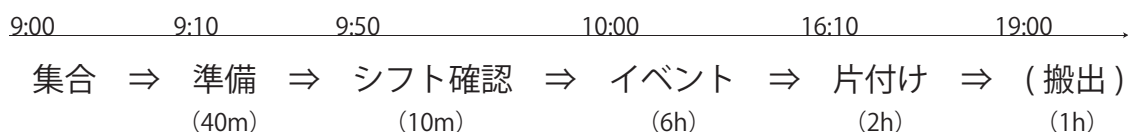
- ◇ 学校、芝浦祭実行委員への説明と確認・企画書の確認
 (机・椅子等の貸し出し、消灯願い、必要電力の確認)
 必要備品の買い出し・搬入搬出の準備と手配・広報活動(チラシ、ポスター、HP等)

(当日)

- ◇ 教室案内ルートの確認・広報活動(チラシ配布)・備品の確認と分別・電力の確認
 必要補充備品の買足し・机・椅子の配置・ブルーシート・テープによる養生・シフトの確認



■ 当日工程





■ 広報活動

広報用ポスター (D1820×H841)



広報用ポスター (A3)



広報用チラシ (A5)



candle night HP



■ 当日の様子

【準備】



【教室】





チャリティーキャンドル販売@Toyosu campus

■ チャリティーキャンドル販売

昨年同様、東日本大震災の被災地復興支援のため、手作りキャンドルのチャリティー販売を行うことにしました。自分たちで作成したキャンドルを1つ300円で販売し、売上金を日本赤十字社を通じて東日本大震災の義援金として寄付を行いました。今回はすべて作品のテーマを『秋』と設定し、4作品を各50個合計200個準備しました。作品は主に当プロジェクトが8月に行った【岩手復興支援プロジェクト】で用いたビンの余分を使用したものとししました。4作品同様のビンを用いたことによる類似化を防ぐため、通常のワックスをジェルワックスに変えることや、周りの素材を変えることをおこない、4作品すべてにオリジナリティを持たせました。

チャリティー売上金額合計： ¥21,900-

■ チャリティー作品詳細



作品名：Autumn for you

材料：ビン(60φ×h80)、薄布(白)、IJペーパー、
ティーキャンドル

コンセプト：キャンドルの色は秋色に灯ります。

『秋』を優しく、柔らかくビンに包みました。



作品名：kirigami cube

材料：ビン(60φ×h80)、ポリエチレンボード
黒紙、ティーキャンドル

コンセプト：切り紙を通してかたちを変えた火の光。

見方を変えると見える風景も変わります。



作品名：手のひらの季節

材料：ビン(60φ×h80)、たこ糸、カラーサンド(色砂)
耐火ガラス玉、ジェルワックス

コンセプト：季節の節。夏を経て澄んだ水。火を灯すと
忽ち周りを秋色に染め上げる。



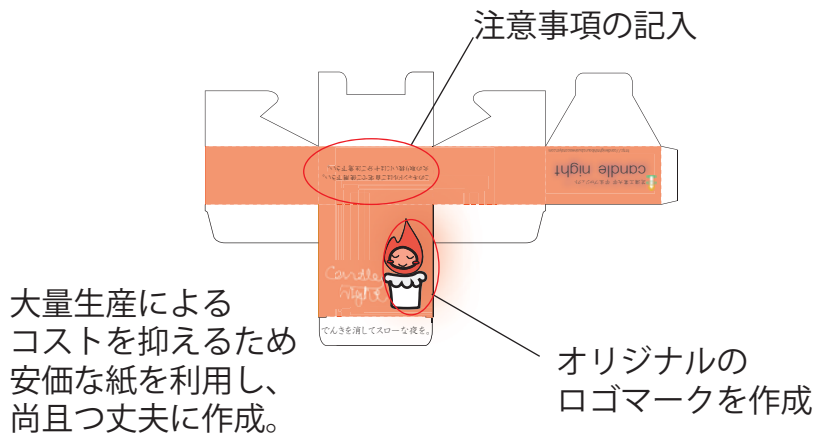
作品名：秋の灯り

材料：ビン(60φ×h80)、和紙(厚手)、パラフィンワックス
アクリル絵の具、ティーキャンドル

コンセプト：ロウには水分を弾くという性質があります。
ロウで秋絵を描き、染め上げました。



▪ オリジナルティーキャンドルボックスの作成



▪ 当日の様子





キャンドル教室@Tamachi campus

- 概要：田町キャンパスでの活動は今回が初めての試みでした。生涯学習課の方々にご協力いただき、キャンドル教室を行いました。今までのキャンドル教室では行うことのなかった、キャンドルについての説明や科学的な話を踏まえて実際に制作してみるというプログラムで行いました。
- 実施日時：2013年11月9日 13:00～15:00
- 実施場所：芝浦工業大学 田町キャンパス 302教室
- 実施内容：キャンドル教室、講演「ロウと火の関係について」、アンケートの実施
- 教室参加対象：小学1～3年生対象（約30名）※保護者同伴

▪ キャンドル教室

今回は芝浦工業大学のオープンスクールということでキャンドルを科学的に考えながら実験的にかつ、クリエイティブな作品を作っていただこうと思いました。私達の経験を基に子供が作れて、さらに実験的で独創性のある作品を作っていただきました。

日常生活で使用する紙コップや割り箸を利用することで、ものづくりにおける親近感を持たせ、ワックス溶解から着色まで全てのプロセスを行っていただくことで、より実験的に、また想像力を働かせるようプログラムを組みました。

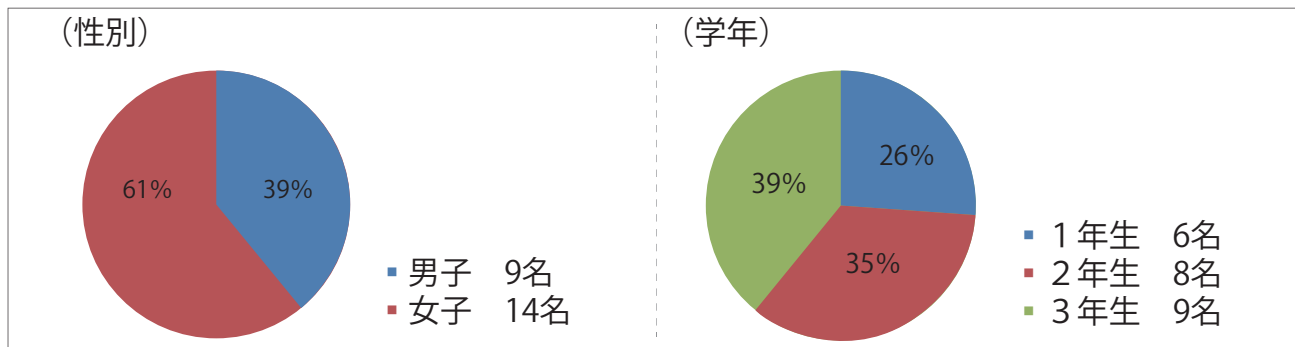
▪ アンケート集計・結果

今回のキャンドル教室ではcandle nightの認知度の確認、またキャンドル教室の感想・評価を伺うため、教室に参加した子供達とその保護者を対象としたアンケートを実施致しました。

▪ 質問内容

1. 学年と性別を教えてください。
2. この講座に参加したのはなぜですか？（複数回答可）
3. 芝浦工業大学の講座に参加したのは何回目ですか？
4. 講座の内容は難しかったですか？
5. 「手作りキャンドル教室」に参加してみて、楽しかったですか？
6. またこのような講座に参加したいですか？
7. 講座の感想、メッセージを自由に書いてください。

1. 参加者(小学生)





<p>2.参加動機</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 内容がもしろそう ■ 理科や科学がすき ■ 家族のすすめ ■ 芝浦工業大学に興味 ■ その他 	<p>3.参加回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 初めて ■ 2回目以上
<p>4.内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 難しかった ■ ちょうどよかった ■ 簡単だった 	<p>5.満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 楽しかった ■ まあまあ楽しかった
<p>6.参加希望</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 参加したい ■ 参加したくない 	<p>7.自由記入欄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やさしく教えてくれて有難うございました。 ・先生のはなし方もわかりやすかったです。 ・キャンドル作りは初めてで緊張しました。 ・司会のおにいさんがもしろかったです。 ・いろんな人と一緒につくれて楽しかった。 ・いろがかわいくできたのでよかった ・ろうそくがなくてかおうとしたけど、すてきなキャンドルをつくれて嬉しかった。 ・ブロックキャンドルがきれいにできた ・楽しくてまたやりたい ・キャンドルの作る楽しさがわかって楽しかったです。他
<p>【自由記入欄(保護者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく学ばせていただいたと思います。 ・初めてキャンドルを作れた。楽しかった。 ・子どもが楽しそうだった。 ・実際に手作りろうそくをつくるという体験ができた。 ・講師（学生さん）が子どもと話しながら楽しく作業させてくださったことが子どもが一番嬉しかったと思います。有難うございました。 ・娘は男性と話すのが少々苦手としてしましますが、やさしく話しかけてくださっていたので会話が成立していて安心しました。 ・子どもだけで参加できる内容だったこと。大学生と関わる機会が少ないのでいい経験になったと思います。環境が整っていました。 ・2時間たっぷり集中して受講させていただきました。内容、学生さんたちの対応に大満足です。震災のときのことも思い出せてよかったです。 ・家で行うことはむずかしいことなので、とても楽しそうに取り組む姿を見ることができました。講師のみなさんが子どもたちに声をかけていただいて飽きることなくキャンドル作りを行うことができました。 ・少人数のグループで講師の方が丁寧に指導してくれた。 	



▪ 当日の様子



candle night@atre KAWASAKI

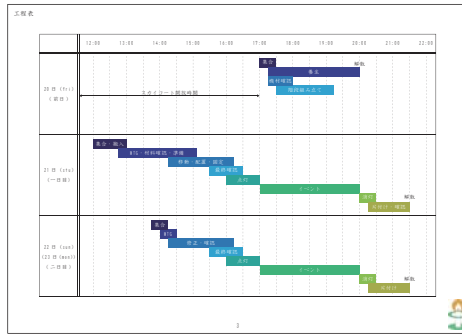
- 概要：2012年冬至のcandle night@アトレ川崎でご好評を頂きまして、去年に引き続き2年目の開催機会となりました。今回も去年同様アトレさん側のテーマに合わせ作品を制作致しました。テーマは“シンデレラ”。現代に迷い込んだシンデレラを表現するといったものでしたので全体の構成としては来場者の方々がシンデレラの世界に迷い込むようなストーリー性をもたせるよう、プランを計画致しました。
- 実施日時：2013年12月21日、22日 17:00～20:00
(21日雨天時23日に延期、以降中止)
- 実施場所：アトレ川崎 5Fスカイコート
- 実施内容：インスタレーション、アンケート、アカペラコンサート、試飲会
- 協力：アトレ川崎、スターバックスコーヒー、タリーズコーヒー
芝浦工業大学アカペラサークルNetwon(ameLo,guys&sounds, Dear-u Dear-Men's)
- 企画・計画プロセス
 - (10月中旬)
 - ◇企業打ち合わせ・スケジュールリング
 - (11月上旬)
 - ◇企画計画設定・グループ分け・サブテーマ決定・作品アイデア発表・試作品の作成と確認
他団体打ち合わせ・広報用資料の作成・プロジェクト内のスケジュールリング
 - (11月下旬)
 - ◇企業打ち合わせ・計画敷地確認と決定・企画書の作成・試作品の安全面確認
作品行程の確認・広報活動(チラシ、ポスター、HP等)・他団体打ち合わせ
 - (12月上旬)
 - ◇作品の決定・配置案確認・当日想定仮配置スタディ・環境対策等の確認と修正・
必要備品の確認・本作品用材料の買い出し・計画敷地確認・広報活動(同上)
 - (前日)
 - ◇インスタレーション作品搬入・控室等の確認・最終打ち合わせ(他団体含む)
必要備品買い出し(最終)、配置計画場ミリ、環境確認(風速・天候等)
 - (当日)
 - ◇備品搬入・他団体補佐・作品のメンテナンス・貸し出し備品の確認・当日打ち合わせ



- 企画書作成(工程表、配置案、メンバー表、計画作品写真他詳細、注意事項責任等)



表紙



工程表



計画配置案

- 広報活動



ポスター(アトレ川崎)



ポスター(candle night)



ウェブページ(candle night)

- 当日の状況と感想

昨年の実施場所 6F屋上ガーデンから今年の実施場所 5Fスカイコートに変更したことで来場者の理解度向上、さらに2年目ということから芝浦工業大学「Candle Night」の認知度向上により3時間という短い時間ながら、**約2000人**に来場していただくことができました。

初日は搬入・準備共に迅速に行うことができ、環境(天候・風速)の問題もなかったため来場者には落ち着いた空間・時間が提供できました。作品の密度・キャンドルの光量・空間密度・動線計画・安全面共に問題のないと思えました。来場者の方々からは「芝浦工業大学の活動は幅広いですね」や「去年よりきれいですね」「是非、来年も開催してください」等のお言葉をいただきました。アトレでは今年で最初のCandle Night 2日目を行いました。天候の悪化(突風)による作品の転倒・一部欠損や材料の不足等の問題が発生致しました。転倒・欠損作品は迅速に修復し、不足材料も買い足しを行ったため2日目のイベントも1日目同様間に合うことができました。しかし、強風によるキャンドルの消火が多数発生し、スタッフ総動員で作品に火をつけることになりました。風対策の必要性を再認識しました。

今回の大きな変更点として他団体(芝浦工業大学アカペラサークル)とのコラボレーションは来場者の方々並びにアトレさま側からご好評をいただきました。落ち着いたキャンドルの風景にアカペラの美しい歌声が調和し、より一層Candle Nightが深まりました。

田町キャンパスのキャンドル教室に引き続き、アンケートブースをインスタレーション沿いに構築実施致しました。呼びかけの末、**980名**の方々アンケートに答えていただき、多くのお褒めの言葉をいただきました。



▪ 当日の様子

【準備】



【本番】



今後の活動計画、目標、意気込みなど

2014年から学生プロジェクトとして活動を始め4年目となります。昨年を含む3年間を経て、メンバーの役職やイベントの企画・運営、年間スケジュールが固まりつつあります。しかし、実施するイベントは未だ我々「candle night」で企画するものが多く、他団体との交流を深めることができておりません。昨年の目標として掲げておりました、「火の良さを伝える」ということはアンケートの感想から達成されたと思われませんが、「candle night」の本当の活動概念でもある脱原子力運動がイベントを通してあまり伝わっていないことがわかりました。初めて学部1～4年生がそろそろ今年の活動はcandle nightの本意を伝えることを念頭に置き、よりエコの意思を強く持ち意味のある(メッセージ性のある)インスタレーション、キャンドル教室を行っていきたいと思います。また他団体とも積極的に交流を深め、豊洲・大宮・田町の周辺のみならず、より広い範囲の人々の認知度向上、また我々の活動意義を積極的に伝えていきたいと思ひます。

2014年も「candle night」を宜しくお願い致します。